

被爆・戦後80年記念 講演会

核兵器のない世界を築くために

～「核抑止」では平和は守れない～

- ❖「核廃絶」と「核抑止」の違いは？
- ❖日本被団協「ノーベル平和賞」の意味は？
- ❖「核の傘」「核抑止論」の危険性とは？
- ❖「核兵器廃絶」への道筋は？



原爆ドーム(広島市)



平和祈念像:北村 西望 作(長崎市)

戦後 80 年を経ても世界各地で戦争・紛争が起きています。ウクライナやガザ地区での軍事行動は長期化し、毎日多くの犠牲者が生まれています。また、核による威嚇が公然と行われたり、「核の傘」を正当化する論調が高まるなど、世界平和をめぐる情勢は危機的な状況にあります。本講演会では、核兵器をめぐる最新の国際情勢を学び、これから私たちができることは何か、どう行動していけばよいかを考え交流します。一緒に学習しましょう。

日時

10月11日(土) 14:00～15:30 (開場 13:30)

会場

ぎふメディアコスモス みんなのホール

(岐阜市司町 40-5)

講師

川崎 哲 氏

/ ピースボート共同代表

参加費

無料 (定員 200 名)



お申込み

右の二次元コードか裏面の申込書を FAX でお送りください。⇒
(締切り:10/8(水)) ※お申し込み多数の場合は、お断りすることがあります。



主催:被爆者の願いを継承する岐阜県民の会

TEL:058-370-6867 全岐阜県生協連 (月～金 9時～17時)

後援:日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)

岐阜県原爆被爆者の会(岐朋会)

プロフィール

川崎 哲 氏 (かわさき・あきら)

ピースボート共同代表。2017年にノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」の国際運営委員兼会長(2012～14年同共同代表、14年から国際運営委員、21年から会長兼任)。核兵器廃絶日本NGO連絡会の共同代表として、NGO間の連携および政府との対話促進に尽力してきた。一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」専務理事。ピースボートでは、地球大学プログラムや「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」をコーディネート。立教大学兼任講師。日本平和学会理事。著書に『核兵器 禁止から廃絶へ』(岩波ブックレット、2021)、『僕の仕事は、世界を平和にすること。』(旬報社、2023)、『戦争ではなく平和の準備を』(共編著、地平社、2024)、『核兵器はなくせる』(岩波ジュニア新書、2018)など。2021年、第33回谷本清平和賞受賞。1968年東京生まれ、東京大学法学部卒業。



ピースボートは、1983年に設立された国際交流と平和を目的とした国際交流 NGO です。世界一周クルーズを通じて、参加者に多様な文化や社会問題について学び、交流する機会を提供しています。持続可能な社会の実現を目指し、核兵器廃絶を目指す「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」や「ピースボート地雷廃絶キャンペーン(P-MAC)」など、平和と国際理解を促進する活動を続けています。

参加申込書

10/11(土)「被爆・戦後 80 年記念講演会」

申込日 2025 年 月 日

お名前(必須)	電話(必須)	FAX(任意)

摘要

※ご提供いただいた個人情報 は本講演会のためにのみ利用いたします。

FAX : 058-370-6860 (10/8(水)まで)